



鍵かけは 小さな仕事 大きな防犯!!

鍵かけは防犯の基本です!

車上狙いに注意してください。

たとえ施錠してあっても、カバンなどが置いてあったら、ガラスを叩き割って盗っていきます。上着や座布団などで隠しても効果はありません。

子どもの送迎時や買い物など、「ほんの数分」でも被害に遭います。

車を離れるときは施錠し、カバンなど貴重品は持って出ましょう。

自宅前でも安心できません。車には物を置かないようにして、必ず鍵をかけ、車庫にシャッターがあれば閉め、玄関灯などを灯し、夜間でもなるべく明るくしてください。



フィッシング詐欺のメールに注意!

フィッシング詐欺とは、送信者を偽って電子メールを送信する詐欺手口の一つです。メール内のURLにアクセスして、IDやパスワード、クレジットカード番号などを入力してしまうと、悪用され、身に覚えのない高額請求をされることがあります。

メールやSMS(ショートメッセージ)に記載されたURLからアクセスしたサイトにID・パスワードなどを入力しないよう注意してください。



火の用心!冬は火災の多い季節です

冬は空気が乾燥し、暖房器具を使う機会が増えるため、火災が発生しやすくなります。

火災の中でも、特に住宅で発生する火災により多数の死者が出ています。その出火原因は、たばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

日頃から取り組む住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を紹介します。



住宅防火いのちを守る 10 のポイント「4つの習慣」と「6つの対策」

4つの習慣

- ・寝たばこは、絶対しない
- ・ストーブの近くに、燃えやすいものを置かない
- ・こんろを使うときは火のそばを離れない
- ・コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグを抜く

6つの対策

- ・ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する
- ・住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ・寝具、衣類およびカーテンは防災品を使用する
- ・家庭用消火器を設置し、使い方を確認する
- ・高齢者や身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ・防火防災訓練などへの参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う